

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 筑摩書房「論理国語」 ）

教科 国語 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

科目 論理国語 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現代の社会に必要な母国語としての日本語の知識や技能を身に付けるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元名・指導項目・内容 | 単元の具体的な指導目標 | 評価規準 | 領域 | | | 観点別 | | | 配当 時数 |
|---------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|-----|---|---|----------|
| | | | | 話聞 | 書 | 読 | 知 | 思 | 態 | |
| 1 学期 | 「アイオワの玉葱」 長田弘 | ことばの性質とともに、日常生活で感じた小さな違和感や気づきに問題を見つけ、考えを深めていく筆者の思考のありかたを理解する。 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 「物語という欲望」 内田樹 | 本文の論旨を踏まえて物語作品を読み、私たちが物語のどのような点について、どのような「解釈」を行いながら読んでいるかを理解する。 | 【知識及び技能】 現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 | ○ | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 「地図の想像力」 若林幹夫 | 本文の論理構成を追い、人間と世界との多様な関係について考え、地図についての価値基準に着目した比較・分析を理解する。 | 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 「近代の成立——遠近法」 橋爪大三郎 | 「近代」が生み出してきた思考や世界観について遠近法を通じて「主体」と「客体」として位置づけられたものについて理解する。 | | | | ○ | | ○ | ○ | 6 |
| | 「デジタル化される世界」 オリヴィエ・レイ 池畑奈央子訳 | 統計の数字からどのようなことが読み取れるか、また数字から分かることと分からないことを理解する。 | | | | ○ | | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査 | | | | | ○ | | ○ | ○ | 1 | |
| 2 学期 | 「本当は怖い『前提』の話」 川添愛 | 特定の主張や価値観を「当然の前提」として発せられる質問が、回答者を無意識のうちにある方向に誘導している構文があることを理解する。 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 「模倣と『なぞり』」 尼ヶ崎彬 | 「模倣」と「なぞり」という二つの習得方法について考察し、「型」と「形」を重視する日本的な芸能の伝承方法について理解する。 | 【知識及び技能】 現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 | | ○ | | | ○ | ○ | 1 |
| | 「トリアージ社会」 船木亨 | 治療において「トリアージ」が導入されることによって、明確でない「生」の問題が合理的に正しい選択をすることが可能になることを通じて、この社会の正義の変化と自由が失われていくことを理解する。 | 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 「貧困は自己責任なのか」 湯浅誠 | 一般的な貧困の自己責任論と筆者の考える貧困の理由とを対比させ、社会の貧困問題の本質がどこにあるのかを理解する。 | | | | ○ | | ○ | ○ | 5 |
| | 「桜が創った『日本』」 佐藤俊樹 | ソメイヨシノと人間の立場を逆転させることで、視点を反転させる思考が既存の関係を相対化することになるという「システム論」の基本的な考え方を理解する。 | | | | | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 定期考査 | | | | | ○ | | ○ | ○ | 1 | |
| | 「『である』ことと『する』こと」 丸山眞男 | 「である」と「する」という二つの価値判断の基準が、そのまま封建社会から近代的民主主義社会への変遷に対応していることを知るとともに、それが円滑にいかなかった日本社会のどこに問題があり、またどのような弊害をもたらしているかを理解する。 | 【知識及び技能】 現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 7 |

